

# ルワンダとタンザニアにおける農林水産業の現状と課題 -国際協力と貿易・投資の促進を目指して-

平成 23 年度農林水産省補助事業 途上国の農業等協力に係る現地活動支援事業のうち  
「アフリカ支援のための農林水産業情報整備事業」報告会開催のご案内

サブサハラ・アフリカ地域の開発協力に資するため、農林水産省補助事業を活用し、ルワンダとタンザニアの農林水産業の現状に係る情報整備事業を実施しました。ジェノサイド以降 RPF 政権下で急速な復興が進められ、「アフリカの軌跡」とも呼ばれているルワンダでは、国際社会からの支援を得ながら農林水産業分野においても政策・制度を矢継ぎ早に整え、灌漑と肥料、ハイブリッド種、改良家畜の導入が急速に進行しています。土地制度の改革も大きな影響を与えており、伝統的な散居状況から集村化へ向けた動きと、分散錯圃状況の農地を統合して協同組合形式で統一の作物を栽培して生産から流通までの効率を高める作物集約化プログラムによって、伝統的な農村風景までが一変しつつある状況です。しかし、一方で貧困率は 56.9%と依然として高く、農村部の小学校教育を完了したのは男性で 32%、女性で 14%と今後の発展継続への難しさも残っています。

タンザニアは、ルワンダとは対照的に政情が安定的に推移したことから、日本の対アフリカ援助において 2 番目に ODA 支援の多い重点国ですが、貧困率は 34%と依然として高く、人口の 70%以上を抱える農村部の開発は大きな課題です。タンザニア政府は農業開発における民間セクターの役割を重視し、食品加工業や海外投資の促進にも意気込みを見せていますが、インフラや金融サービス、土地制度等の面で大きな課題を抱えています。一方で、現場レベルではイノベーションに溢れた起業家もあり、農産物・食品加工業や BOP ビジネスは今後可能性の高い分野として注目されます。また、重要な輸出産品であるナイルパーチは、資源の枯渇や生態系への影響が問題となっており、資源保全と輸出産業の両立が課題となっています。

本報告会では、昨年 11 月に実施した現地調査結果をもとに、両国の主要農林水産業や農業・土地政策、主要品目の現状と課題についてご報告致します。ご参加ご希望の方は Fax、Email でお申し込みいただきますようお願い致します。定員 50 名。参加無料。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 開会

13:30 開会挨拶及び事業説明

## ルワンダ報告

13:40 ルワンダの経済・農業概況

13:45 コーヒー産業の概要

14:10 紅茶産業の概要

14:20 コメ及びバナナの生産、流通

14:30 質疑応答

## 休憩

15:00 休憩

## タンザニア報告

15:10 タンザニアの経済・農業概況

15:15 ビクトリア湖のナイルパーチ漁

15:30 バナナの生産、流通

15:45 BOP ビジネスの事例

16:00 質疑応答

## 閉会

16:30 閉会

開催日時：2012 年 3 月 23 日(金)13:30～16:30

開催場所：千代田区大手町 1-3-1

JAビル 3 階 302 会議室



お問い合わせ先：

プロマーコンサルティング 吉田里絵/川江心一

TEL 03-6222-0003 FAX 03-3206-0004 Email: info@promarconsulting.com

**ルワンダとタンザニアにおける農林水産業の現状と課題**

**－国際協力と貿易・投資の促進を目指して－**

平成 23 年度農林水産省補助事業 途上国の農業等協力に係る現地活動支援事業のうち  
「アフリカ支援のための農林水産業情報整備事業」報告会参加申し込み

2012 年 3 月 23 日（金） 13：30～16：30

JAビル

|            |  |
|------------|--|
| 申込日        | 2012 年 月 日   |
| 参加希望<br>報告 | 両方またはどちらかに丸印(特定の品目の報告へ参加希望の場合には、品目名を記入)<br>1. ルワンダ報告(参加希望品目： )<br>2. タンザニア報告(参加希望品目： ) |
| 会社名        |  |
| 部署・役職      |  |
| お名前        |  |
| TEL        | ( ) —  |
| FAX        | ( ) —  |
| Email      |  |

FAX 送付先： 03-3206-0004

プロマーコンサルティング 吉田/川江宛

Email 送付先： info@promarconsulting.com